

# 60年ぶり夏服一新



福岡市立中学校の女子生徒の新しい夏服  
(右側)と現在の夏服

15日午後、福岡市役所

来年夏から、福岡市立中学校の女子生徒の夏服(ジャンパースカート)のデザインが約60年ぶりに一新される。変更を検討してきた同市中学校校長会(田中賢次会長)が5日、発表した。暑さ対策のため脇の部分を大きく開けるなどしたほか、汚れやシミが目立たないように紺のチェック柄にした。市内69校のうち、独自制服の指定校を除く64校で導入される。

同会によると、従来の夏服は1950年ごろに導入された。「暑い」「動きにくい」との声が出たため、

## 福岡市の中学校 来年導入

2008年度に検討委員会を設置。アンケートの結果、生徒の約8割、保護者の約6割が改善を求めたため、新しい夏服の導入を決めた。

肩から背中にかけて、型崩れ防止で二重にしていた構造から、薄くて通気性の高い裏地に変えたほか、腰ベルトを無くすなど涼しくて動きやすく、着替えもしやすいのが特徴という。

値段も同程度(1万6750円~1万1千円)の予定。現在の1、2年生は来年夏、各校の判断で新旧どちらを着てもいい。校長会は「デザインも現代風に仕上がった。気に入ってもらえるはず」と期待している。